

各 位

平成 21 年 7 月 28 日
会 社 名 株式会社コロワイド
代表者名 代表取締役 蔵人金男
(コード番号 7616 東証第一部)
(連絡先電話番号：045-274-5970)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 30 日の決算発表時に公表いたしました平成 22 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間及び連結通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたすとともに、下記の通り特別損失が発生いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

〔Ⅰ〕 業績予想の修正について

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	55,986	844	266	△751	△13.94
今回修正予想 (B)	53,941	860	309	△1,593	△28.10
増減額 (B-A)	△2,045	16	43	△842	-
増減率 (%)	△3.7	1.9	16.2	-	-
(ご参考) 前年同期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	57,241	205	△305	△962	△16.81

平成 22 年 3 月期連結通期の業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	115,193	3,696	2,561	1,360	20.23
今回修正予想 (B)	111,055	3,709	2,591	1,390	20.73
増減額 (B-A)	△4,138	13	30	30	-
増減率 (%)	△3.6	0.4	1.2	2.2	-
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	117,293	2,522	1,526	628	9.30

2. 修正の理由

当期におきましては昨年秋以降の世界的な金融市場の混乱が実体経済にも波及し、企業収益の大幅な悪化、設備投資の減少や雇用調整等から景況感は厳しい状況で推移いたしております。

当社グループにおきましては、中京地区を中心に不安定な経済環境と個人消費の冷え込み等から店舗売上の減少が続いており、また、関西地区では新型インフルエンザの流行が消費マインドの低下につながり、店舗売上に大きな影響が出ました。

このような状況の中、「既存店の体質強化に力点を置く」対策の中で、独自性・差別化による業態の確立、業態転換、店舗の閉鎖も含めた不振店の集中改革を引き続き行っております。当期における閉鎖店舗数は当初 18 店舗を予定しておりましたが、連結子会社の（株）アトムにおいて新たに 35 店舗の閉鎖を追加計画し、これにより当社グループ全体での当期の閉鎖店舗数は 53 店舗となります。まずは第 2 四半期連結累計期間において 47 店舗の閉鎖を行ってまいります。

当初計画において、期末に不振店舗に対する特別損失の計上を見積もっておりましたが、その見込み額を閉鎖店舗に対する固定資産除却損等に回すため、第 2 四半期連結累計期間において特別損失を前倒しで計上いたします。

以上のことにより、当初計画に比べ店舗数減少を主要因として連結売上高は減少いたしますが、利益につきましては不採算店舗を前倒しで処理することにより、営業利益の直接的な改善が行なわれること及び原価率を中心としたコスト面の改善もあり、通期においては、概ね当初計画通りの利益を予定いたしております。

尚、個別業績につきましては、現在のところ修正の予定はございません。

〔Ⅱ〕 特別損失の発生について

当社の連結子会社である株式会社アトム（本社所在地：名古屋市、代表者：代表取締役社長 植田 剛史）において、減損損失（特別損失）154 百万円が発生いたしました。詳細につきましては、平成 21 年 7 月 28 日に公表いたしました同社の「特別損失の発生並びに平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上